

患者の皆様へ

2019年9月30日
人工知能（AI）医学

千葉大学大学院医学研究院 人工知能医学では、重篤な合併症や二次疾患を予防するため、人工知能 (artificial intelligence; AI) 技術を用いた研究をしています。今後の治療に役立てるため、この研究では患者さんの診療情報などを利用させていただきます。この研究で、診療情報などが何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「人工知能技術による横断的診療情報解析」

2. 研究の意義・目的

AI 技術を用いて患者さんの診療情報を解析し、合併症や二次疾患発症のリスクや入院期間や病態変化を予測し、予後の改善や医療費削減につなげることを目的としています。

3. 研究の方法

1991年1月から2019年9月に本学附属病院に外来・入院した患者さんの診療情報などを利用させていただきます。AI 技術は特定の病気だけではなく、様々な病気の情報から共通する症状を抽出し、病気と病気の関係を調べることができます。本研究では診療情報の解析に AI 技術を用いることで、病気同士の関係を明らかにし、合併症や二次疾患発症のリスクや入院中の病態変化を予測したいと考えています。

また本研究は既に記載されている診療データを二次利用するため、臨床的な不利益及び危険性は存在しません。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で用いる診療情報は、セキュリティが確保された当院の病院情報システムからデータを抽出します。データ抽出の際には氏名などの個人識別情報を除去する匿名化処理を施すので、個人情報が院外に出ることは無くプライバシーは保護されます。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関： 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学
千葉大学医学部附属病院 企画情報部

本件のお問合せ先： 千葉大学大学院医学研究院 人工知能（AI）医学
川上 英良 教授
043(222)7171 内線 7982 （人工知能（AI）医学教員室）